

令和4年度（津久井高校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (服務規律の徹底)	法令遵守の意識を向上させ、公私の別を明らかにし、公務外の非行を防止する。	・職員会議等で注意喚起をしながら職員への目配り、声掛けを徹底した。公務内外に関わらず、公務員の倫理を自覚し、服務規律を遵守することができた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	研修等で人権感覚を養い、良好で風通しの良い労働環境を形成し、お互いに人権意識を高めあう職場づくりをする。	・女性教員の比率が多く、若い子育て世代の職員が多い。そのためお互いに支えあう土壌ができており、ハラスメントも特に見当たらないが、常に人権意識を持ちながら、一層の啓発が必要であると感じている。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権感覚を磨き、何事にも疑義を持たれないよう指導の場で細心の注意をする。	・昨年度に引き続き、重点課題として研修に取組んだ。若い職員も多く、気になる行動には迅速に躊躇せず管理職からの声掛けを実施した。この項目については気を緩めず、引き続き人権意識の啓発を徹底していく。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防止する。	・生徒に寄り添う、教育支援中心の指導体制を確立する。人権意識の向上が必要とみられる事案もあるので、生徒・保護者の意見に耳を傾けつつ、未然防止に努める。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づく確実な処理で入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成における事故を防止する。	・マニュアルの改良を行うとともに、事故防止に最大限の注意を怠らなかつた。また進路についても個人情報の取扱いに留意し、生徒の進路希望の実現に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正管理により、流失事故等を未然に防止する。	・生徒、保護者の方よりお預かりしている大切な個人情報について、細心の注意を持って管理をした。また一人一台端末の導入により、情報リテラシーの重要度がさらに増しているため、教員、生徒とも学ぶ必要を感じており、改善を図る。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者ゼロ、交通事故ゼロを継続する。	・県内唯一のバイク通学認可校であり、学校安全総合支援事業の指定校として生徒の交通安全指導の徹底を推進するとともに教職員も交通安全法規を理解し交通法規に遵守を徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	情報共有と相互チェックを徹底し、業務執行上の事故を未然に防止する。	・職員数の減によるグループ体制の見直しが図られている状況で、グループリーダーを中心に業務の適正な遂行と、事故防止のためのチェック体制を整備し、情報の共有を徹底した。
財務事務調査指導等の適正執行	不適正な会計処理をしない。私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	・会計の執行について保護者への説明や迅速な返金等、滞りなく行った。備品台帳への記入漏れが見受けられたので、次年度に申し送りし、物品の管理を徹底する。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和4年度は事故不祥事に該当する案件はなく、ゼロプログラムの達成状況も概ね良好だったが、保護者トラブル等が継続し対応に膨大な時間が割かれた。情報の共有と管理職への報告・連絡・相談が徹底されていたので大事に至るケースはなかったが、人権意識についていまいちど見つけなおす必要性を感じている。今後もセクハラ、パワハラをはじめとし、特別権力関係におけるハラスメントの防止に取組み、ジェンダーに対する正しい理解を一層進めていきたい。

令和5年度の課題として、仕事と育児や介護を両立させなければならない職員が多いので、職場における相互理解や助け合いの意識を高め、ワークライフバランスとメンタルヘルスについて考えた環境づくりに取組み、事故不祥事の防止を心がける。